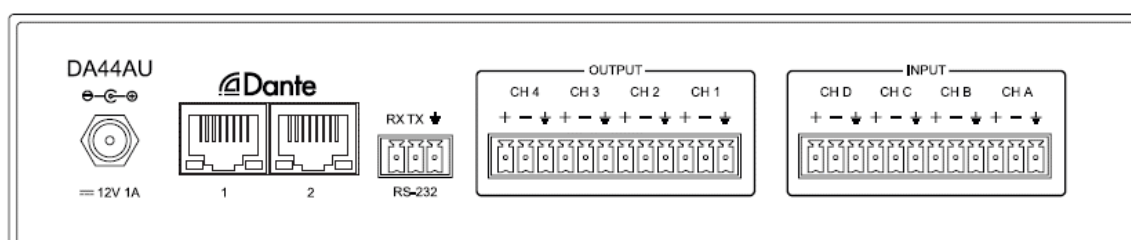


Blustream

4 入力 4 出力 Dante オーディオコンバータ

DA44AU

取扱説明書



改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver.1.0	2022/1/7	初版
Ver.1.1	2022/4/28	一部仕様変更
Ver.1.2	2023/06/30	連絡先情報の更新

安全上のご注意

この度は、DA44AU をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。




この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえにご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

本取扱説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

 <p>警告</p>	<p>誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。</p>		<p>操作に関するヒントまたは追加情報です。</p>
 <p>注意</p>	<p>誤った取り扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びつくもの。</p>		

**警告**

- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止し、販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。
- 本製品および、使用するケーブル類を他の高温部(暖房機器など)に近づけないでください。変形したり、保護部が溶けたりし、感電や火災の恐れがあります。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止して、PoE電源供給LANケーブル、またはACアダプターおよびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- LAN ケーブル、または AC アダプターを抜き挿しする場合は、必ず挿入部を持って抜いてください。コードを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。

**警告**

- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってからふき、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶついたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためLANケーブルやACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。

**注意**

- LANケーブルやターミナルブロックの結線は正しく行ってください。間違えた結線でケーブルを接続すると機器の故障の原因となります。
- 本製品を密閉された場所、屋外での使用や、長時間の連続使用は避けてください。
- 本製品両側の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。
- 本機に接続するケーブルには抵抗入りケーブルを使用しないでください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関してのサポートは致しかねます。

**注意**

- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。
- 電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	6
製品特長	6
各部名称	7
RJ-45 端子インジケーターステータス説明	9
Dante ネットワーク構成機器の選択	10
ネットワークスイッチの選択	10
LAN ケーブルの選択	10
接続図	11
ネットワーク構成による冗長化接続	12
基本の操作	13
電源入力	13
本体フロントパネルの操作	13
Dante コントローラー ソフトウェア	15
概要	15
ダウンロード先	15
本機の検知	15
本機の IP アドレス変更	16
詳細設定	17
RS-232 シリアル通信制御	18
システムインフォメーションコマンド	19
システムコントロールコマンド	20
FAQ	エラー! ブックマークが定義されていません。
主な仕様	22
外形寸法	22
サポート専用問い合わせ先	23

製品概要

DA44AU は、4 系統のアナログオーディオ入力端子と 4 系統のアナログオーディオ出力端子を搭載した Dante® デジタルオーディオコンバータです。Dante に対応していないミキサー、アンプ、PC や Blustream マトリックス、伝送器製品からのオーディオソースを Dante ネットワークへ接続する他、Dante からのオーディオソースをアナログ信号に変換します。バランス/アンバランスオーディオやファンタム電源を含むマイクラインレベル入力に対応し AES67 RTP オーディオトランスポートにも対応します。

製品特長

- 4 系統のアナログオーディオ入力を Dante ネットワークに接続
- Dante ネットワークからのデジタル信号を 4 系統のアナログオーディオ信号に変換して出力
- バランス/アンバランス アナログオーディオ入力とマイク/ラインレベル信号に対応
- マイクラインレベルでの 48V ファンタム電源対応
- 44.1k /48k /、96kHz 24-bit サンプルレート対応
- Dante Controller 経由での遅延設定(1/ 2/ 5ms)
- チャンネル毎での入力感度と出力レベル設定
- AES67 RTP オーディオトランスポート対応

各部名称

前面



番号	表記	操作方法
①	⏻	電源ステータスランプです。本体電源 ON 時に青色点灯します。
②	IN A/B/C/D	各入力のオーディオ入力信号のステータスランプです。 アナログオーディオ信号が検知されたチャンネルが青色点灯します。
③	NET	Dante ネットワーク通信のステータスランプです。 Dante ネットワークからのオーディオ信号を受信しオーディオ出力されると青色点灯します。
④	🔗	Dante Controller で設定構成する PC との接続を示すランプです。 Dante Controller に接続されると接続されると青色点灯します。
⑤	48V A/B/C/D	各入力にファンタム電源(48V)供給のステータスランプです。 点灯:ファンタム電源(48V)供給中 消灯:ファンタム電源(48V)未供給
⑥	OUT A/B/C/D	各出力(A/B/C/D)のオーディオ入力信号のステータスランプです。 Dante ネットワークからオーディオ信号を受信し出力されているチャンネルのランプが青色点灯します。
⑦	-	ディスプレイです。 ネットワーク接続やメニュー画面を表示します。
⑧	ESC	メニュー操作の”戻る”ボタンです。メニュー画面での「戻る」に使用します。
⑨	ENTER	メニュー操作つまみです。 メニュー画面でのスクロール(回す)やメニュー選択・決定(押す)に使用します。
⑩	⏻	電源ボタンです。 本体の電源をオン/オフします。

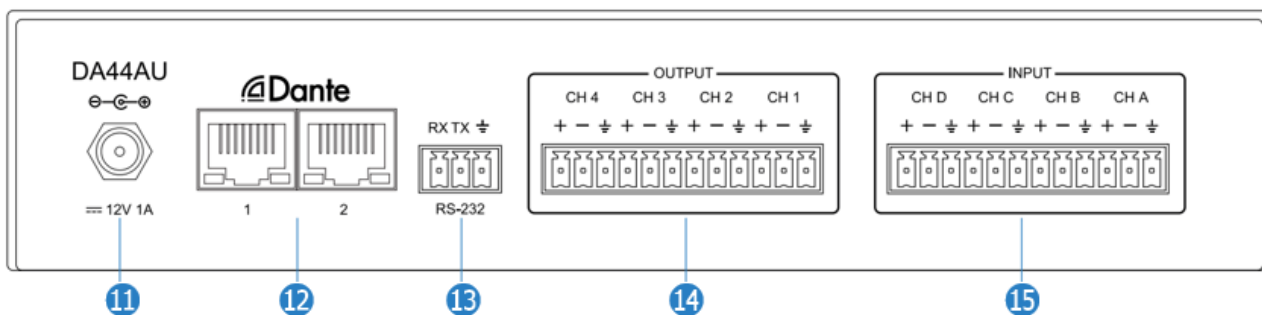
本体前面オーディオ入力信号検知インジケータ照合表

本機前面インジケータ(IN)	A	B	C	D
本機背面入力系統	CH A	CH B	CH C	CH D

本体前面オーディオ出力信号検知インジケータ照合表

本機前面インジケータ(OUT)	A	B	C	D
本機背面出力系統	CH 1	CH 2	CH 3	CH 4

背面

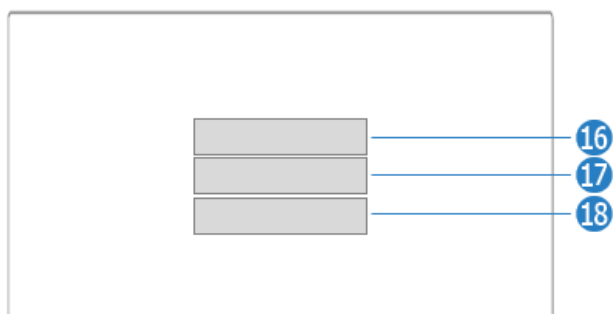


番号	端子	説明
①①	DC 電源入力 x1 系統	付属の AC アダプター(12V/1A)を接続します。
①②	RJ-45 ポート x2 系統	Dante ネットワークへ接続する RJ-45 端子です。ポート 2 はネットワークを 2 重化できる接続やデジチェーン接続にご利用いただけます。※デジチェーン接続の最大接続数は 7 台です。
①③	RS-232 用 3 ピンターミナルブロッ ク x1 系統	PC やコントロールシステムと接続して本体を制御します。
①④	オーディオ出力用 3 ピンターミナルブロッ ク x4 系統	バランス/アンバランスオーディオに対応したオーディオ出力端子 x 4 です。アン プやミキサーなどに接続してください。 ※ Dante®Ultimo チップセットの制限により、同じ DA44AU の入力に接続さ れたオーディオは出力されません。
①⑤	オーディオ入力用 3 ピンターミナルブロッ ク x4 系統	48V ファンタム電源を含むバランス/アンバランスオーディオに対応したオーディ オ入力端子 x 4 です。マイクやオーディオソース機器と接続してください。

上面・底面



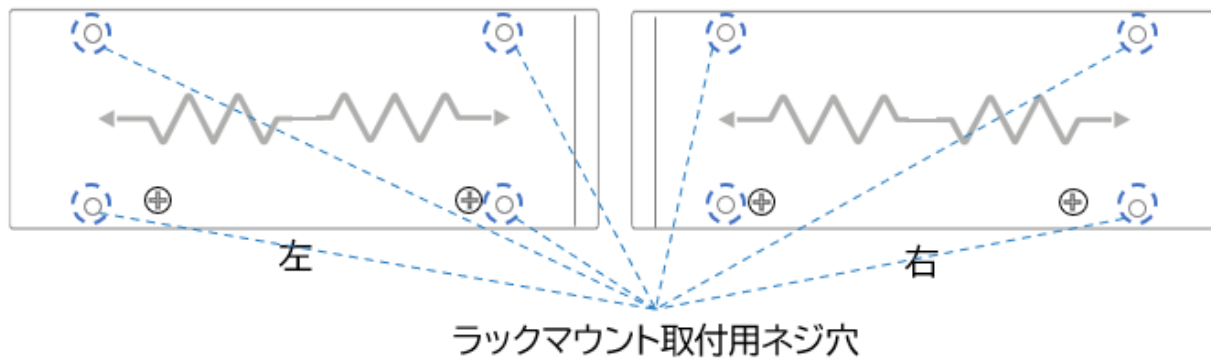
上



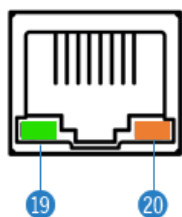
底

番号	説明
①⑥	P/N:製品型番です; S/N:シリアル番号です
①⑦	LAN 1 ポートの MAC アドレスです
①⑧	LAN 2 ポートの MAC アドレスです

左・右側面



RJ-45 端子インジケーターステータス説明



インジケータ	ステータス	説明
①⑨	消灯	電源オフ、またはネットワークスイッチに接続していない
	緑色点灯	ネットワークスイッチに接続している
②⑩	消灯	電源オフ、またはネットワークスイッチに接続していない
	橙色点滅	データ通信中

Dante ネットワーク構成機器の選択

ネットワークスイッチの選択

Dante ネットワークを構成するには以下の要求を満たすネットワークスイッチが必要となります。

必須要件

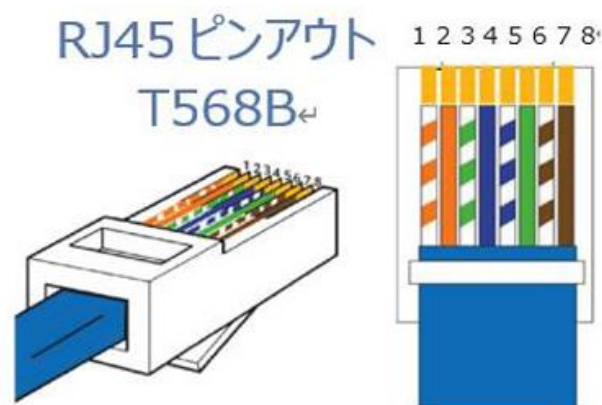
- 1Gbps 対応ノンブロッキングネットワークスイッチ(レイヤー2 以上)であること
- 省電力モード(例:Energy Efficient Ethernet)を確実にオフできること
- 4つのキューを持つ QoS(Quality of Service)に対応すること
- DiffServ(DSCP)QoS に対応すること

推奨要件

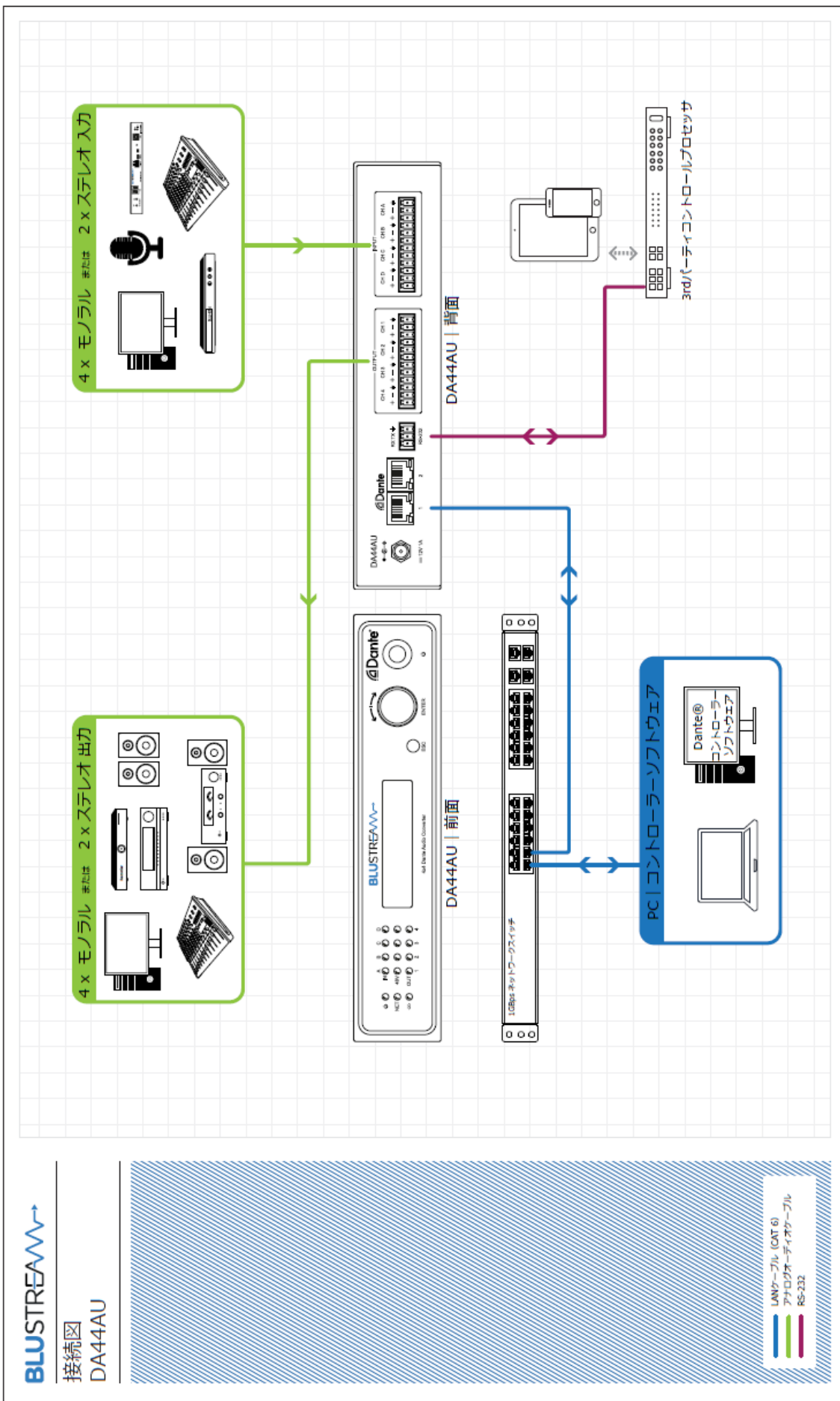
- マネージドスイッチ
- DHCP に対応していること

LAN ケーブルの選択

本機に接続する LAN ケーブルは、正しい RJ45 ピン構成で終端してください。LAN ケーブルは「ストレート」(ピン対ピン)、EMI 電磁干渉の影響を受けにくい T568B 結線規格で配線することを推奨します。LAN ケーブルを敷設する際には、できるだけ高品質な LAN ケーブルを採用することをお勧めします。本機は、CAT5e 規格以上のケーブルで動作しますが、Blustream 社では CAT6 規格ケーブルを採用することを推奨しています。特に、長距離を敷設する場合や、EMI の高いエリア、また 4K 信号伝送する場合はカテゴリの高いケーブルをご利用ください。

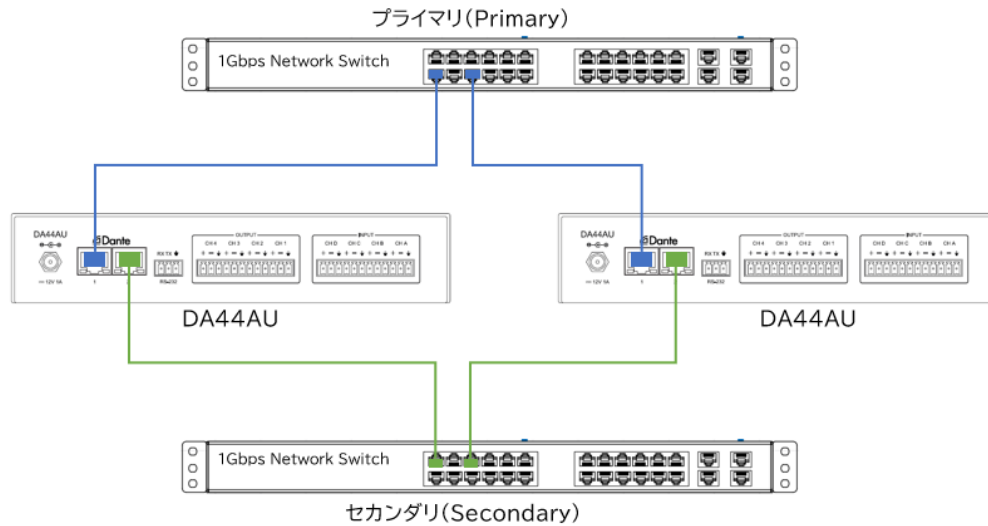


接続図



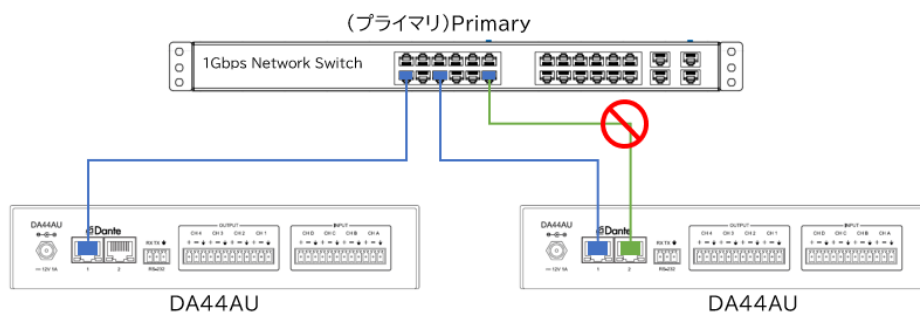
ネットワーク構成による冗長化接続

本機には、ネットワーク構成による冗長化接続機能を備えています。メイン回線のプライマリ (Primary) ネットワーク経路やネットワークスイッチに障害が起きても、ネットワーク全体に影響を与えずに自動的に予備のセカンダリ (Secondary) ネットワーク経路に引き継ぎます。なお、プライマリ (Primary)、セカンダリ (Secondary) LANポート1、2は別々のネットワークスイッチに接続してご利用ください。



注意

プライマリ (Primary) のネットワークスイッチに本機の LAN ポート1 (プライマリ (Primary))、LAN ポート2 (セカンダリ (Secondary)) を同時に接続しないでください。
 ※ Dante リダンダンシーは非対応です。



基本の操作

電源入力

本機に他の機器を正しく接続した後、必ず次の手順で電源の入切をしてください。誤った手順で操作すると、誤作動や故障の原因になる場合があります。

本機の電源を入切する時は、接続する機器及び本機の音量を最小に下げてください。

注意

本機は PoE 電源入力非対応です。

電源を入れる手順

1. 本機に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認し、付属 AC アダプターの DC プラグを DC 電源入力端子に接続します。
2. 本機を電源入れます。(本体前面の電源ボタン)
3. ソース機器 → 出力機器の順に電源を入れます。

電源を切る手順

1. 出力機器 → ソース機器の順に電源を切ります。
2. 本機の電源を切ります。(本体前面の電源ボタン)

本体フロントパネルの操作

本機の前面ディスプレイ及び操作つまみで、下記の操作を行うことができます。

操作方法

- メニュー表示: 操作つまみを押す
- メニュー項目スクロール: 操作つまみを回す
- 確定: 操作つまみを押す
- 戻る: 'ESC' ボタンを押す



- 本機デバイス名、IP アドレスの確認

DA44AU-xxxxxxx → デバイス名
169.254.xxx.xxx → IPアドレス

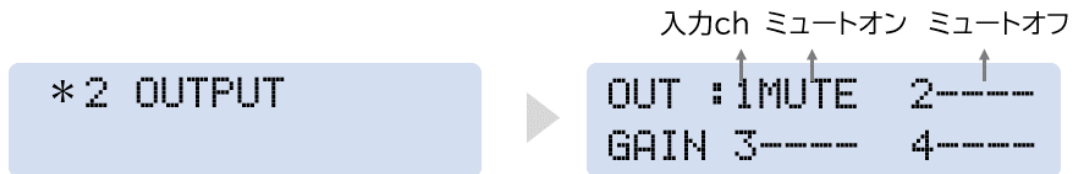
- 各入力チャンネルのモード切り替え及びゲイン調整

* 1 INPUT

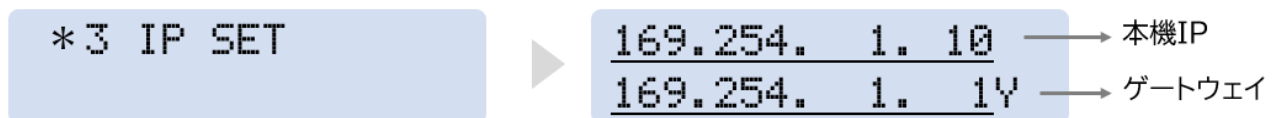
	入力ch	モード	ゲイン
IN	A	MIC	0dB
GAIN	B	LINE	0dB

モード表示	説明	対応ゲイン調整範囲
MIC	マイク(48V ファンタム電源オフ)	0/5/10/15/25/35 dB
48V	マイク(48V ファンタム電源オン)	
LINE	ライン	-10/0 dB

- 各出力チャンネルのミュートオン/オフ設定



- 本機のネットワーク設定



本機 IP アドレス、ゲートウェイの設定した後、‘Y’ を選択し、操作つまみを押すと、新しい設定が適用されます。

- 本機のデバイス名の変更(大文字アルファイド、数字、スペース、ハイフン)



本機のデバイス名を設定した後、‘Y’ を選択し、操作つまみを押すと、新しい設定が適用されます。

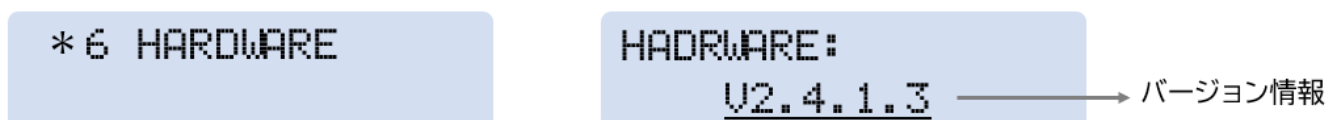
- 本機設定のリセット(出荷時設定にリセット)



YES:リセットする

NO:キャンセル

- 本機ハードウェアのバージョン情報確認



Dante コントローラー ソフトウェア

概要

本機は、Dante コントローラーソフトウェア(以下“Dante コントローラー”という)を使用して設定やネットワーク構成の設定を行います。

ダウンロード先

Dante コントローラーは Audinate 社ウェブサイトから無料でダウンロードできます。ご利用の PC (Windows または macOS) に使用に合わせてインストールしてください。

<https://www.audinate.com/products/software/dante-controller?lang=ja>

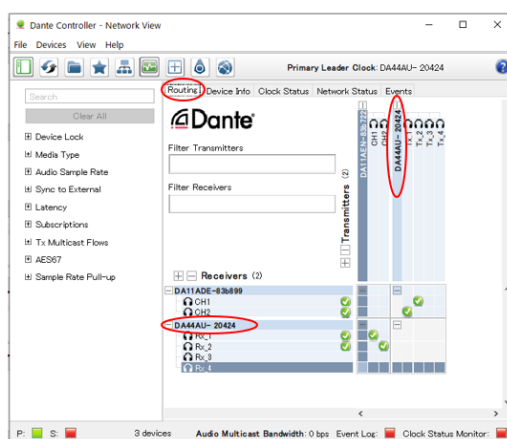
※ 本書は下記のバージョンの Dante コントローラーを基づく操作方法を説明します。ご利用のバージョンにより、設定画面、項目が異なる場合があります。予めご了承ください。

```
Dante Controller

Dante Controller UI Version: 4.4.2.2
Dante Controller Package Version: 4.4.2.2
Java version: 16.0.1
Common version: 4.0.5
Dante Discovery version: 1.3.1
OS: amd64 10.0
```

本機の検知

本機を Dante ネットワークに接続すると Dante コントローラーは自動的に本機を検知します。Dante コントローラー上では“DA44AU-xxxxxx”の名称で認識されます。Dante コントローラー「Routing」画面から Dante エンコーダ(Transmitters)とデコーダ(Receivers)のルーティング設定を行ってください。



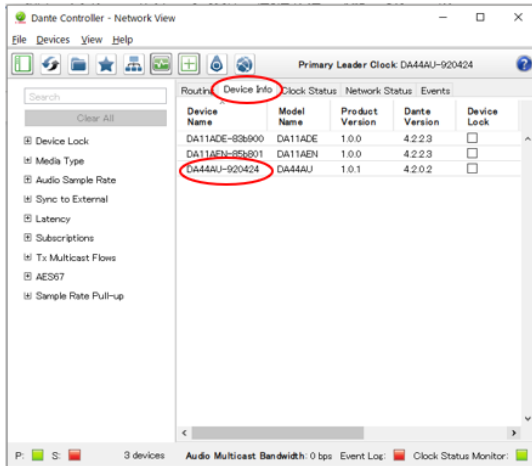
Routing > DA44AU-xxxxxx

注意

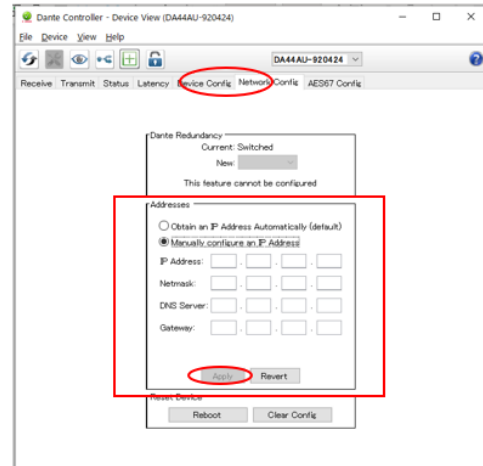
Dante コントローラーで設定構成する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。Dante エンコーダ(送信機)およびデコーダ(受信機)は、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応していません。Dante 機器は、必ず LAN ケーブル介してネットワークへ接続してください。接続する PC は、Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

本機の IP アドレス変更

本機は工場出荷時設定では、DHCP は有効に設定されています。DHCP サーバーが存在しないネットワークに接続した場合、本機の IP アドレスは「169.254.xxx.xxx」セグメントにて割り振られます。本機の IP アドレスを変更するには、Dante コントローラーの[Device Info]> [Network Config]画面から設定を行ってください。

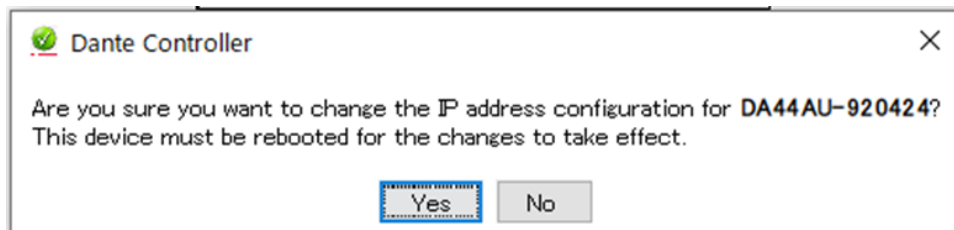


Device Info > DA44AU-xxxxx



Network Config > Address > Manually configure IP Address

※ 新しいネットワーク設定を適用するため、メニューに従い本機を再起動してください。



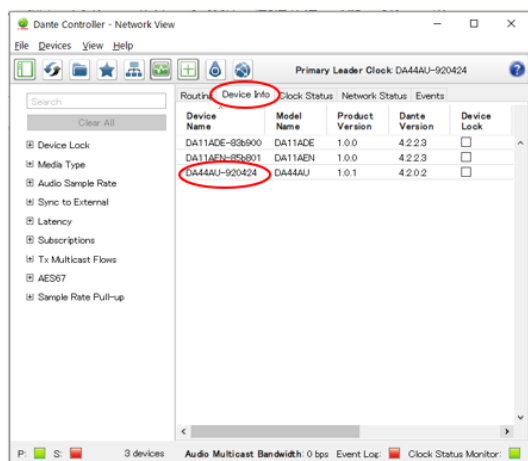
詳細設定

Dante コントローラーの[Device Config]画面の[Device Info]項目より本機の設定変更が可能です。以下画面では本機でのサンプルレートの設定が行えます。

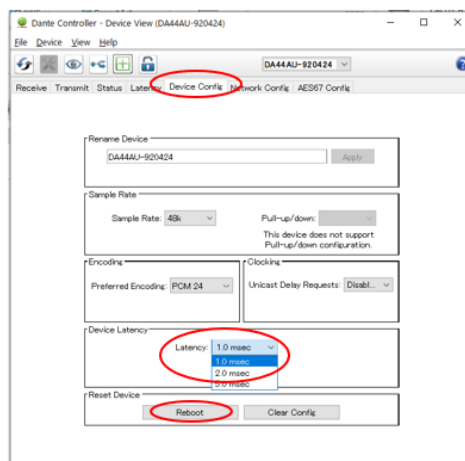
注意

Dante 製品では、同じサンプルレート値が設定が行われているエンコーダ(Transmitters)とデコーダ(Receivers)間のみでオーディオ伝送が可能です。接続する他の Dante 機器と同じサンプルレートが設定されているかご確認ください。

[Device Config]画面では、本機の遅延設定も変更可能です。

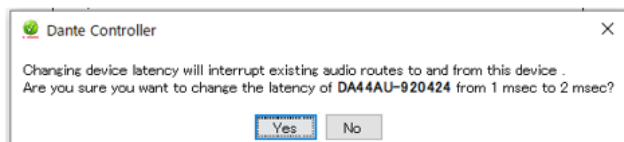


Device Info > DA44AU-xxxxx

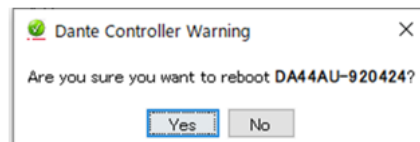


Device Config > Device Latency

※ 新しいネットワーク設定を適用するため、メニューに従い本機を再起動してください。



Device Config > Device Latency



Device Config > Reboot

RS-232 シリアル通信制御

本機は、RS-232(3 ピンターミナルブロック)端子を通じて、PC やコントロールシステムに接続し、RS-232シリアル通信コマンドを送信することで制御が可能です

- ※ 本機の RS-232 シリアル通信は Telnet に対応していません。
- ※ コネクタの抜き差しは、必ず本機電源をオフにしてから行ってください。

本機の RS-232 シリアル通信の初期設定値は下記の通りです。

- ボーレート:57600bps
- データビット:8 ビット
- パリティ:なし
- ストップビット:1 ビット
- フロー制御:なし

良くある失敗例

キャリッジリターン - ご利用になられるターミナルソフトウェアによっては、キャリッジリターン(改行)が必要な場合があります。一部のターミナルソフトウェアでは、トークン<CR>を使用してキャリッジリターンを実行するなど、ご利用になられるプログラムによって仕様が異なります。

- ・スペース(空白) - 本機はスペース(空白)を認識して動作します。
 - 本機は英字は大文字、小文字を認証せず動作します。
 - 文字列のフォーマット: 'IN{スペース(空白)}00{スペース(空白)}AUD{スペース(空白)}MIC{スペース(空白)}01'
- ・ボーレートまたはその他のシリアル通信プロトコルの設定間違い

システムインフォメーションコマンド

項目	送信コマンド	応答コマンド
コマンド一覧を取得する	?	以下、コマンド‘?’、‘HELP’の応答例をご参照ください
コマンド一覧を取得する	HELP	以下、コマンド‘STATUS’の応答例をご参照ください
システムステータス情報を取得する	STATUS	以下、コマンド‘STATUS’の応答例をご参照ください

```

=====
DA44AU Dante Audio Matrix
FW Version: 1.0.0d

===== System Information Commands
?/HELP      Print Help Information
STATUS      Print System Status And Port Status
===== System Control Commands
RESET       Reset System To Default Setting
            (Type "Yes" To Confirm, "No" To Discard)

...

```

コマンド‘?’、‘HELP’の応答例

```

=====
DA44AU Dante Audio Matrix
FW Version: 1.0.0d

Power      Baud
On         57600

InputPort  Connected  Type   Sensitivity  Phantom
1          No        Mic    0dB          Off
2          No        Mic    0dB          Off
3          No        Mic    0dB          Off
4          No        Mic    0dB          Off

OutputPort Connected  Mute
1          No        Off
2          No        Off
3          No        Off
4          No        Off

DHCP       IP          Gateway      SubnetMask
On         192.168.057.070  192.168.057.003  255.255.255.000

MAC
00:1D:C1:92:04:24
=====

```

コマンド‘STATUS’の応答例

システムコントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメータ
本体をリセットします。	RESET	Resetting...	“Yes”を送信して確定。”No”を送信してキャンセル。
出力 yy のミュートを xx します。	MUTE xx OUT yy	Set Output yy Audio Mute xx	xx = On または、Off yy = [00]:全ての出力ポート [01~04]:出力ポート番号
xx 入力ポートを yy に zz db で設定します。	IN xx AUD yy zz	Set Input xx To yy, Sensitivity zz dB	xx = [00]:全ての入力ポート [01...04]: 入力ポート番号 yy = MIC または、LINE zz = 00:MIC:00dB LINE:-10dB zz = 01:MIC:05dB LINE:00dB zz = 02:MIC:10dB zz = 03:MIC:15dB zz = 04:MIC:25dB zz = 05:MIC:35dB
入力 xx のファンタム電源を yy に設定します、※1	IN xx PHA yy	Set Input xx Phantom yy	xx = [00]:全ての入力ポート [01...04]: 入力ポート番号 yy = ON または、OFF
RS-232 シリアル通信のボーレートを z に設定します。	RS232BAUD z	Set RS-232 Baudrate To zz	z = 1 2,400、2 4,800、3 9,600、4 19,200、5 38,400、6 57,600(規定値)、7 115,200
DHCP の設定を有効(ON)または、無効(OFF)に設定します。※2	NET DHCP ON/OFF	DHCP Set To On/Off	ON:有効 OFF:無効
IP アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx に設定します。※3	NET IP xxx.xxx.xxx.xxx	IP Address Set To xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx=[IP アドレス] ※入力例:192.168.001.100
ゲートウェイアドレスを xxx.xxx.xxx.xxx に設定します。※3	NET GW xxx.xxx.xxx.xxx	Gateway Address Set To xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx=[ゲートウェイ] ※入力例:192.168.001.001
サブネットマスクアドレスを xxx.xxx.xxx.xxx に設定します。※3	NET SM xxx.xxx.xxx.xxx	Subnet Mask Set To xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx=[ゲートウェイ] ※入力例:255.255.255.000
ネットワークを再起動して新しい設定を適用します。	NET RB	Set Network Reboot And Apply New Config!!!	-

※1 コマンド: IN xx AUD yy zz で 'MIC' を選択していない場合は、エラー[ERROR]となります。

※2 新しいネットワーク設定を適用するにはコマンド: NET RB でネットワーク設定をリブートする必要があります。

※3 本機の IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを設定する前に、本機の DHCP 機能を無効にする必要があります。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

Dante コントロールソフトウェアに検出されない

下記をご確認ください。

- 本機の RJ-45 のインジケータの点灯が正常であること
- 接続しているネットワークスイッチの DHCP が有効になっていること
- Dante コントローラーソフトウェアで設定する PC は本機と同じネットワークセグメントに接続されていること Dante コントローラーソフトウェアのバージョンが最新であること

Dante コントローラーで設定構成する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。Dante エンコーダ(送信機)とデコーダ(受信機)では、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応しておりません。Dante 機器は、必ず LAN ケーブル介してネットワークへ接続してください。接続する PC は、Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

Dante コントロールソフトウェアでデバイス名が赤い文字で表示されます

Dante コントローラーソフトウェアで設定する PC のアドレスと Dante 機器の IP アドレスのネットワークアドレス部が異なる場合、デバイス名が赤い文字で表示されます。Dante コントローラーで設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。

主な仕様

型番		DA44AU
入力端子	音声	4ch バランス/アンバランス アナログオーディオ(12 ピンターミナルブロック) x 1
出力端子	音声	4ch バランス/アンバランス アナログオーディオ(12 ピンターミナルブロック) x 1
Dante		RJ-45(100Mbps Dante オーディオ) x 2 (1:プライマリ/2:セカンダリまたはデジチェーン、最大 7 台)
制御端子		RS-232(3 ピンターミナルブロック)
ネットワークの冗長化		対応
リダンダンシー接続		非対応
サンプリング周波数		44.1k / 48k / 96kHz ※4
ビット長		24bit
AES67 (RTP)		対応
ファンタム電源		48V
ゲイン調整		マイク:0dB ~ +35dB(6 段階:フロントパネルまたは RS-232 にて設定) イン:-10dB / 0dB(2 段階:フロントパネルまたは RS-232 にて設定)
電源		DC 12V/1A
消費電力		最大7W
動作温度		0~40℃
保存温度		-20~60℃
動作/保存湿度		20~90%(結露無きこと)
本体寸法(WxDxH)		215 x 145 x 44mm(突起物含まず)
本体重量		約 1200g
同梱物		AC アダプター x 1 / 12 ピンターミナルブロック(本体装着済み) x 2 / 3 ピンターミナルブロック(本体装着済み) x 1 / 専用マウントブラケット x 2 (取付ネジ x 4) / 保証書 x 1
製品保証		ご購入日より 3 年間
適合認証		FCC / CE / PSE(AC アダプター) / RoHS

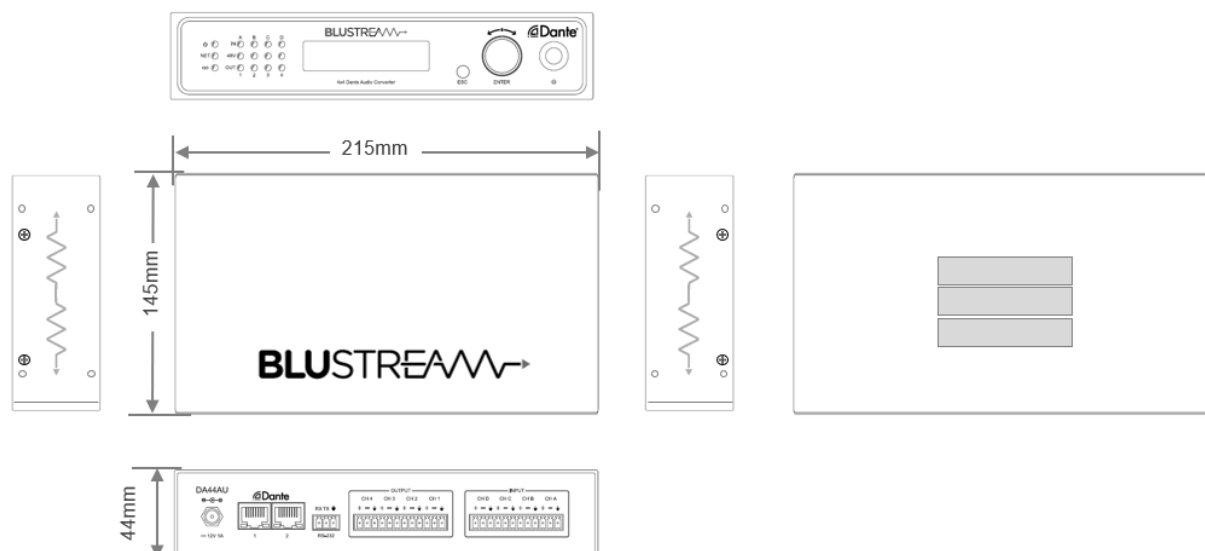
※4 96kHz 時は 2 入力 2 出力、または 4 入力 0 出力、0 入力 4 出力のみ対応します。

※ Audinate®、Audinate のロゴ及び Dante®は、Audinate Pty Ltd の登録商標です。

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

外形寸法



サポート専用問い合わせ先

お問い合わせの前に…「FAQ よくある質問」をご参照ください。

www.ad-techno.com/support/info/faq/

それでも解決しない場合：

製品のお問い合わせ： www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談： www.ad-techno.com/support/service/contact/

お問い合わせの際は以下内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。